

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

## 3 限 選択科目 (60分)

科目	ページ	科目	ページ
政治・経済	2～14	日本史	16～32
世界史	34～50	地理	52～63
数学	64～69		

## 〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

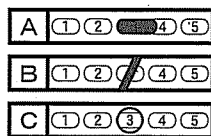
## 記入上の注意

- 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

- 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ヨーロッパの北部、北海とバルト海に挟まれたスカンディナヴィア半島とユトランド半島は、8世紀末から11世紀にかけてヴァイキングとして恐れられ「第2次民族大移動」を引き起こしたノルマン人の原住地である。ノルマン人の主な遠征ルートは、スカンディナヴィア半島西岸を大西洋沿いに南下しブリテン諸島北部方面に向かうもの、北海沿いに北フランスや東イングランドなどの南西方面に進出するもの、そしてバルト海を渡って東方に向かうものがあった。ルーシと呼ばれたノルマン人の一派によるこの東方ルートの遠征の結果、9世紀にルーシの首領リュリクが東スラブ人を征服してノヴゴロド国を、ついでリュリクの一族のオレグがさらに南下し  公国を建国した。これらの国の建国は、中世ヨーロッパの商業ネットワーク形成に大きな意味をもつことになった。というのは、これらの国は  川によって黒海とつながることで、ビザンツを介してヨーロッパとイスラーム圏をつなぐ北方交易ルートを形成したからである。

公国の大公はさらなる南下を目指してビザンツ領への遠征を行ったが、10世紀末の  の時代に、ギリシア正教に改宗し、ビザンツ皇帝の妹と結婚するなど、ビザンツ帝国と提携し、その後最盛期を迎えた。しかし、13世紀にモンゴル軍によって征服され、以来およそ2世紀半の間、「<sup>(1)</sup>タールのくびき」と呼ばれるキプチャク＝ハン国の支配に屈することになった。

以上のようなノルマン人の遠征と移住の一方で、原住地では統一王権が形成され、デンマーク、スウェーデン、ノルウェーの3王国が成立した。ただし、それぞれの王国の領域は、現在の国境とは随分異なっている。ユトランド半島一帯に住むノルマン人はデーン人と呼ばれ、9世紀からイングランドに侵入を繰り返し、11世紀初頭、 がイングランドを征服してデーン朝を開き、その後、デンマークとノルウェーの王位も継承して、北海帝国を築いた。しかし、彼の死後、この帝国は瓦解し、以降、スカンディナヴィア3王国の政治は、ハンザ同盟

と東方植民によって台頭した北ドイツ諸侯の影響を受けることになった。

14世紀末に、デンマークの ② は、姻戚関係に基づいてノルウェーとスウェーデンの王権をも自らの手中に収め、3王国を同君連合とする う 同盟を承認させ、これによって3王国はデンマーク連合王国となった。しかし、デンマーク王権の優位を不服としたスウェーデンは、1523年に ③ の下で独立した。スウェーデンはその後、17世紀前半に起こった三十年戦争によってスカンディナヴィアにおける覇権を握ることとなった。デンマークのクリスティアン4世は、同じ新教側に立つスウェーデンの王 ④ に先んじようとして早期にこの戦争に参加したが、神聖ローマ皇帝の傭兵隊長 え に敗北し、結局スウェーデンに援軍を頼まざるを得ないほど国威を後退させた。スウェーデンは ④ の活躍で旧教側を圧倒し、国王自身の戦死にもかかわらず、ウェストファリア条約で、バルト海を隔てた北ドイツの I に領土を獲得した。この結果、スウェーデンは、バルト海の北と南の両岸に領土をもつバルト帝国となった。

17世紀後半のバルト海におけるスウェーデンの覇権は、バルト海進出を狙ったロシアによって転覆された。ロシアは、 A ,そして選挙王制の下でザクセンと同君連合であった B と北方同盟を結び、1700年にスウェーデンと開戦した。スウェーデンの ⑤ は、当初、 A や B の軍に勝利したが、1709年にポルタヴァでピョートル1世が率いるロシア軍に敗れて以降戦局は不利になり、内政も混乱した。<sup>(2)</sup> 結局、スウェーデンは、神聖ローマ帝国内の領地の多くを失い、1721年にはロシアと 2 条約を結び、フィンランド湾南岸の多くの領地も失って、バルト海の覇権はロシアに移った。<sup>(3)</sup>

18世紀末に始まったナポレオン戦争は、スカンディナヴィア地域にも大きな変化をもたらした。デンマークは、イギリスとの同盟交渉が紛糾した結果、フランスとの同盟を余儀なくされ、ライプツィヒでのナポレオンの大敗後、キール条約で C をスウェーデンに譲渡した。さらに、1863年にデンマークは同君連合関係にあった お 公国に自国と同様の新憲法を適用することを宣言したが、これに反発して II がオーストリアを誘って出兵し、デンマーク戦争が勃発した。デンマークは敗れて、 お 公国とホルシュタイン公国を喪失

## 世界史

した。一方スウェーデンは、ナポレオン戦争中、対仏大同盟に加わったが、  
3 条約でフランスの同盟国に転じたロシアに D を侵攻され、1809  
年の講和条約で D をロシアに譲渡した。

1905年に E は独立したが、第二次世界大戦中にナチス＝ドイツによっ  
て占領された。第二次世界大戦後、 E は北大西洋条約機構(NATO)に加  
盟したが、国民投票の結果、欧州連合(EU)には加盟していない。他方、原則的  
に中立主義をとりナチス＝ドイツによる占領を免れた F は、北大西洋条  
約機構(NATO)には加盟していないが、1995年に欧州連合(EU)には加盟してい  
る。

問1 空欄 あ ～ お にあてはまる語を解答欄に記入せよ。

問2 空欄 1 ～ 3 にもっとも適したものを以下の語群から選び、  
その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |           |   |         |   |         |
|---|-----------|---|---------|---|---------|
| a | アーヘン      | b | アミアン    | c | ヴォルガ    |
| d | オーデル      | e | シュテッティン | f | ストックホルム |
| g | ティルジット    | h | ドナウ     | i | ドニエプル   |
| j | ドン        | k | ニスタット   | l | ネヴァ     |
| m | フベルトゥスブルク |   |         |   |         |

問3 空欄 ① ~ ⑤ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| a | イヴァン3世    | b | イヴァン4世    |
| c | ヴァルデマール4世 | d | ウラディミル1世  |
| e | エカチェリーナ1世 | f | エリザベータ    |
| g | カール12世    | h | グスタフ＝アドルフ |
| i | グスタフ1世    | j | グスタフ3世    |
| k | クリスティーナ   | l | ジギスムント3世  |
| m | ホーコン4世    | n | マグヌス      |
| o | マルグレーテ    |   |           |

問4 空欄 I ~ II にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |           |   |          |
|---|-----------|---|----------|
| a | オランダ      | b | オルデンブルク  |
| c | 西ポンメルン    | d | 東プロイセン   |
| e | ブラウンシュバイク | f | ブランデンブルク |
| g | プロイセン     | h | ヘッセン     |
| i | ベーメン      |   |          |

問5 空欄 A ~ F にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。同じ語を複数回使ってよい。

- |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| a | エストニア  | b | オーストリア | c | デンマーク  |
| d | スウェーデン | e | ノルウェー  | f | フィンランド |
| g | プロイセン  | h | ベーメン   | i | ポーランド  |
| j | ロシア    |   |        |   |        |

## 世界史

問6 下線部(1)の説明として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア キプチャク＝ハン国はサライを都として、バトゥによって建国された。
- イ モスクワ大公国はキプチャク＝ハン国に忠勤しつつ、他のルーシの諸公国を併合して領地を拡大し、1480年にキプチャク＝ハン国から独立した。
- ウ クリミア半島ではキプチャク＝ハン国から分裂したクリム＝ハン国が建設され、18世紀まで存続した。
- エ キプチャク＝ハン国から分裂して建国されたカザン＝ハン国が、モスクワ大公国と同盟してキプチャク＝ハン国を滅亡させた。

問7 下線部(2)が行ったことの説明として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ピョートル1世はスウェーデンから奪った土地にペテルブルクという都市を建設した。
- イ ピョートル1世はデンマーク出身のベーリングにアジアとアメリカ大陸探検を命じた。
- ウ ピョートル1世はひげをのばした者に対して税を課した。
- エ ピョートル1世はオスマン帝国と戦い、黒海にセヴァストーポリ軍港を建設した。

問8 下線部(3)に関する下記の説明文中の空欄にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

「神聖ローマ帝国内のスウェーデン領を獲得したのは、1709年～1715年に再び形成された北方同盟に加入した二人の王、すなわちプロイセン王国の2代目の王  と、イングランド王ジョージ1世でもあった  選帝侯であった。」

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| a ヴィルヘルム1世        | b ザクセン     |
| c ハノーヴァー          | d ファルツ     |
| e ブランデンブルク        | f ヘッセン     |
| g フリードリヒ1世        | h フリードリヒ2世 |
| i フリードリヒ=ヴィルヘルム1世 |            |

## 世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

イギリスの東インド会社は、エリザベス1世から授与された特許状に基づいて、1600年に設立された。<sup>(1)</sup>1858年に解散するまで、250年以上も存在した長寿会社である。設立当初、イギリスの東インド会社は、東洋から香辛料等を輸入する貿易会社であったが、次第にインドの支配者として統治するようになっていった。<sup>(2)</sup>

イギリスの東洋進出は、ポルトガルやオランダに比べて後発であった。イギリス東インド会社が設立された時には、ポルトガルはすでに100年の東洋貿易の実績をもっていた。ポルトガルは1510年にインド西岸の港市  , 1511年にはマレー半島西岸の港市  を占領し、要塞を築き、1517年、明に通商を求め、1557年には  に居住権をえて、ここを拠点に対中国貿易をくりひろげた。一方、オランダによる東インド会社の設立は1602年とイギリスよりも遅かった。オランダは、17世紀初期から  島にある町をバタヴィアと名づけてアジア進出の拠点としていたが、その後、勢力範囲を拡大し、モルッカ諸島からポルトガルとイギリスを追い出した。さらには香料の集積地である  を1641年に押さえ、アジアへの中継地として南アフリカには  植民地を築いた。こうして、オランダはアジアの香料貿易をほぼ独占した。インドネシアから締め出されたイギリスは、その後インド経営に力を注ぐことになった。香辛料貿易の道がひらけないために、<sup>(3)</sup>インド綿布の輸入によって生きる道を模索したのだが、結果的には、これがのちにインド市場の獲得、インド支配につながっていった。

イギリスは、インド南東岸に位置する都市  やインド西岸に位置する都市  , そしてカルカッタに拠点となる商館を建設し、国際貿易の主導権争いを活発化させていった。オランダとは、17世紀に3次に渡るイギリス＝オランダ戦争<sup>(4)</sup>を行い、最終的にはイギリスが海上覇権を獲得した。18世紀に入ると、イギリスは、インドにおいて当地の覇権をかけてフランスと3次に渡る戦争をした。戦場となったのが  地方であったため、インド史においては  戦争と呼ばれている。第1次戦争はオーストリア継承戦争<sup>(5)</sup>での英仏対立の結果であった。第2次戦争は太守位<sup>(6)</sup>をめぐる現地人の相続争いにフランスと



イギリスが介入して起こった。第3次戦争はヨーロッパでの七年戦争に伴う戦いで、この戦争でインドにおけるイギリスの優位が確定し、1763年のパリ条約で確認された。<sup>(7)</sup><sup>(8)</sup>

この第3次戦争に先立って、I 太守とフランスとの連合軍とイギリス東インド会社の間でプラッシーの戦いが行われ、イギリス東インド会社が圧勝していた。<sup>(9)</sup>イギリス東インド会社はインドにおけるフランス勢力を制圧し、I 地方太守を傀儡化するなどして、自らのインド支配の一步を踏み出した。I での徴税権を得たイギリス東インド会社は、会社の活動の性格・方向性・目的を根本的に変えていった。<sup>(10)</sup>会社経営に当たって、商業原則以外の原則が持ち込まれたためである。I などで徴税権を獲得したことで、イギリス東インド会社は統治活動を行うようになり、会社の財政において統治に関わる軍事費等の歳出が膨張していった。

1770年代にイギリス政府がイギリス東インド会社を監督することが法制化され、1780年代には監督庁の設立によって政府の権限は強化された。実質的に会社の最高機関である取締役会は監督庁の下部機関となり、会社は本来の貿易会社としての性格を失っていった。<sup>(11)</sup>それにもかかわらず、インドの大反乱が起きると、イギリス東インド会社は事態収拾の責任を負わされ、<sup>(12)</sup>1858年に解散し、その歴史に幕を閉じた。

## 世界史

問1 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |         |   |        |   |          |
|---|---------|---|--------|---|----------|
| a | カーナティック | b | カルカッタ  | c | ケープ      |
| d | ケララ     | e | グジャラート | f | ゴア       |
| g | 広州      | h | ジャワ    | i | シャンデルナゴル |
| j | スマトラ    | k | セイロン   | l | 台湾       |
| m | バリ      | n | パンジャーブ | o | ベンガル     |
| p | ボルネオ    | q | ボンベイ   | r | ボンディシェリ  |
| s | マカオ     | t | マダガスカル | u | マドラス     |
| v | マニラ     | w | マラッカ   | x | モザンビーク   |
| y | ヨハネスブルグ |   |        |   |          |

問2 下線部(1)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1559年、統一法を発してイギリス国教会の礼拝と祈祷の儀式を確定した。
- イ 救貧法を公布した。
- ウ 私掠特許状を発行し、私拿捕を奨励した。
- エ 審査法を発し、非国教徒が公職につけないようにした。

問3 下線部(2)の年に、ムガル皇帝が流刑となった先のビルマのラングーンはすでにイギリスの支配地となっていた。この地をイギリスに割譲したビルマの王朝として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア コンバウン朝
- イ タウンゲー朝
- ウ パガン朝
- エ ラタナコーシン朝

問4 下線部(3)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア インド綿製品は17世紀後半からヨーロッパで人気を博し、イギリスの毛織物業者をおびやかした。
- イ インドのカリカットを積出港とすることから、キャラコと呼ばれた。
- ウ 1700年、イギリス議会においてインド産木綿の輸入禁止立法が制定された。
- エ イギリス産業革命の恩恵を受け、19世紀前半には、インド製の機械製綿布がふたたびイギリスに輸出されるようになった。

## 世界史

問5 下線部(4)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 第1次戦争は、イギリスにおける航海法制定を機に起こった。
- イ オランダ西インド会社が建設したニューネーデルラント植民地は、1664年イギリスに奪われ、第2次戦争後にイギリスの領有が確定した。
- ウ 南ネーデルラントに侵攻したフランスに共同で対抗するために両国は第2次戦争を終結させた。
- エ 第3次戦争後、ユトレヒト条約が結ばれた。

問6 下線部(5)の国の東インド会社はほとんど機能していなかったが、重商主義政策の一環として1664年に再建された。この東インド会社再建を行った財務総監は誰か。正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア コルベール
- イ ボシュエ
- ウ マザラン
- エ リシュリユール

問7 下線部(6)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア オーストリアはイギリスの支援を受けた。
- イ ハプスブルク家の継承権をバイエルン公が主張した。
- ウ この戦争の結果、オーストリアはシュレジエンを奪還した。
- エ この戦争の講和条約であるアーヘン条約において、マリア＝テレジアがハプスブルク家の継承者として認められた。

問8 下線部(7)において、オーストリアを支援していた国として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア イギリス
- イ スペイン
- ウ フランス
- エ ロシア

問9 下線部(8)によってイギリスが獲得した領土の組み合わせとして正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ニューファンドランド、カナダ、フロリダ
- イ フロリダ、ミシシッピ川以東のルイジアナ、ドミニカ
- ウ ドミニカ、ジブラルタル、セネガル
- エ ミノルカ島、ミシシッピ川以東のルイジアナ、セネガル

問10 下線部(9)以降、イギリスがインド全域とセイロン島を支配するまでに起こった出来事を説明した文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア インド北東部にあるマイソール王国と4次にわたって戦争を行った。
- イ デカン高原西部の諸侯同盟と3次にわたってマラーター戦争を行った。
- ウ 2次にわたってインド西北部のシク王国と戦争を行った。
- エ ウィーン議定書でオランダ領セイロンを獲得した。

## 世界史

問11 下線部(10)を行使するために導入されたザミンダーリー制について述べた文章として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 土地所有権を認められた農民が地税納入の義務を負った。

イ ザミンダールと呼ばれる徴税権を購入した徴税請負人が地税納入の義務を負った。

ウ ザミンダールと呼ばれる東インド会社の徴税人が地税納入の義務を負った。

エ 在地領主層が土地所有権を認められ、永代定額の地税納入の義務を負った。

問12 下線部(11)に関して、イギリス東インド会社の全商業活動の停止が議会で法制化された年として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1813

イ 1815

ウ 1833

エ 1834

問13 下線部(12)について述べた文章として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 反乱のきっかけとなったのは、牛と豚の脂が塗布してある新式銃の弾薬包がシパーヒー達の宗教的禁忌に抵触したことであった。

イ シパーヒーはムガル皇帝を擁立してデリーを占拠した。

ウ 反乱鎮圧後、イギリスは植民地支配に利用可能な藩王国を温存する方針に転換した。

エ 反乱後、イギリスが本国にインド省と担当大臣を置き、インド総督を廃止して、直接統治を始めた。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

第一次世界大戦で敗北したオスマン帝国では、1920年8月に戦勝国との間に結ばれた  条約の受諾を拒否するムスタファ＝ケマル(ケマル＝パシヤ)らがアンカラ政府を樹立した。ムスタファ＝ケマルらは、オスマン帝国の敗戦に乗じて1919年以来イズミルを占領していた  軍を撃退し、1922年にはスルタン制を廃止した。さらに1923年には戦勝国との間で  条約を結び、トルコ共和国の独立を確保した。他方、この条約によってクルド人の国クルディスタンの建国は否定されたため、クルド人はトルコやその周辺国にまたがる地域で、自治や独立を求める運動を展開することになった。

イラン高原では、16世紀から18世紀まで続いたサファヴィー朝が滅亡すると、不安定な王朝支配が続いたが、18世紀末から1925年まではトルコ系の  朝が支配した。しかし、 朝は19世紀を通じてイギリスやロシアの干渉に苦しみ、19世紀末にはイギリス人業者がタバコ独占の利権を得たことに抗議して、民衆・商人やウラマーたちがタバコ＝ボイコット運動をおこした。そして、それは1905～1911年のイラン立憲革命<sup>(1)</sup>につながっていったが、この革命はイギリスとロシアの干渉によって挫折させられた。1921年にはレザー＝ハーンがテヘランを軍事占領し、1925年に  朝を開いた。

すでに第一次世界大戦中から協商国側では、オスマン帝国支配地域の戦後の統治をめぐる交渉<sup>(2)</sup>を開始していたが、この交渉は20世紀の中東の国境分割の基本的な枠組みを作ることになった。この枠組みの延長線上で、1941年のレバノン独立を皮切りに、第二次世界大戦後の1946年には  が共和国として独立を果たした。

しかし、同時に、1948年のイスラエル建国と、それに反対するアラブ諸国<sup>(3)</sup>とイスラエルとの間で勃発したパレスチナ戦争(第一次中東戦争)でのアラブ諸国の敗北やパレスチナ難民の発生によって、アラブ諸国のあいだで国内体制を見直す機運が高まっていった。1952年にはナギブと  らの自由将校団の軍人によって  革命が起こり、1953年には王政が廃止されて共和政国家が成立した。1956年には  が宣言したスエズ運河国有化をきっかけに、

## 世界史

□ I □ にイギリス・フランス・イスラエルが共同で出兵するスエズ戦争(第二次中東戦争)が起こったが、この出兵に対する国際世論の批判が高まり、国連停戦決議を3国は受諾した。この結果、□ I □ によるスエズ運河の国有化は実現された。1958年には、□ I □ は □ 4 □ と合邦してアラブ連合共和国が成立した。同じ年、カセムを中心とした軍人たちが □ II □ 革命によって王政を廃止し、□ II □ はアメリカがオブザーバーとなって1955年に作られたバグダード条約機構(中東条約機構, METO)を脱退した。

イランは、イギリス資本のアングロ=イラニアン石油会社を、1951年 □ D □ 首相時に国有化したが、1953年に国王派がクーデターを起し国有化は挫折した。アメリカは国王 □ B □ 2世による、クーデター後の近代化政策である □ III □ 革命を支援するなど、中東への介入を強めていったが、1979年に □ E □ に指導されたシーア派勢力によるイラン革命に直面することになった。その後、イランと □ II □ は1980年から8年<sup>(4)</sup>にわたる戦争を展開することになる。

問1 空欄 □ 1 □ ~ □ 4 □ にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |                      |          |
|-----------|----------------------|----------|
| a イエメン    | b イタリア               | c ヴェルサイユ |
| d キプロス    | e ギリシア               | f クウェート  |
| g サウジアラビア | h サン=ジェルマン           | i シリア    |
| j セーヴル    | k セルブ=クロアート=スロヴェーン王国 |          |
| l トリアノン   | m ヌイイ                | n ローザンヌ  |



問2 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |             |            |
|-------------|------------|
| a アサド       | b カージャー    |
| c サアド=ザグルール | d サダム=フセイン |
| e ザンド       | f ドウツラーニ   |
| g ナセル       | h パフレヴィー   |
| i ヒジャーズ     | j ベギン      |
| k ベングリオン    | l ホメイニ     |
| m ムバラク      | n モサデグ     |
| o ヨルダン      |            |

問3 空欄  ～  にもっとも適したものを以下の語群から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |         |        |
|-----------|---------|--------|
| a アフガニスタン | b イラク   | c エジプト |
| d サウジアラビア | e ジャスミン | f シリア  |
| g 赤色      | h 白色    | i ヨルダン |

問4 下線部(1)に関与し、パン=イスラーム主義を提唱し、ウラービーの反乱に影響を与えた思想家の名前として正しいものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アフガーニー
- イ イブン=アブド=アルワッハーブ
- ウ サイド=アリー=ムハンマド
- エ ムスタファ=カーミル

## 世界史

問5 下線部(2)に関連して、次のア～ウの内容に相当する協定や宣言の名前を解答欄に記入せよ。

ア イギリスが主導し、英仏露3国のあいだでオスマン帝国領土を分割することを1916年に約束した。

イ イギリスがアラブ人に対し、オスマン帝国からの独立と国家の建設を1915年に約束した。

ウ イギリスがユダヤ人に対し、ユダヤ人のパレスチナへの復帰運動(シオニズム)を支援する姿勢を1917年に示した。

問6 下線部(3)は、1945年3月にアラブ連盟(アラブ諸国連盟)を結成したが、この連盟の説明として誤っているものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア カイロのパン＝アラブ会議で結成された。

イ エジプト・シリア・レバノン・イラク・ヨルダン・サウジアラビア・イエメンの7か国で発足した。

ウ イスラエルの建国宣言に反対したアラブ連盟全加盟国がただちに共同出兵したためパレスチナ戦争が勃発した。

エ エジプトは、イスラエルと平和条約を締結した後、他の加盟国から批判されアラブ連盟加盟資格を停止された。

問7 下線部(4)と同じ1979年の出来事ではないものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて同年の出来事の場合にはオを選べ。

ア ソ連のアフガニスタン軍事介入

イ エジプト＝イスラエル平和条約の締結

ウ カンボジア人民共和国の樹立

エ 韓国の朴正熙大統領暗殺